

初議会（休憩中）での所信表明（副議長を志す方）

19年9月1日（土）

2. 金沢秀一議員

私は、選挙カーを出さなかった金沢秀一です。

賛否両論、いろいろと承り、反省すべき点は反省しております。私が提案した選挙広報の目的は、選挙用通常はがき800枚では有権者の判断資料として隔たりがあると考えたからであります。全有権者に候補者の考え方を知ってもらいたいと思ったからであります。

私は今回、選挙カーを出しませんでした。ハンドマイクも使用しませんでした。従って、街頭で多くの人に私の意見を聞いてもらうことができませんでした。その点は、大変反省しております。しかし、ひとつ大きな収穫がありました。暑い日差しを避け、木陰の下で休んでいたおばあちゃんが居たので、街頭演説用の旗を立てて、おばあちゃんに話かけたら、そんな難しい話はいいからこっちへ来て休みなさいと木陰へ入れてくれました。年を尋ねると、91歳でした。大正5年の生まれです。年を尋ねたことがきっかけで、おばあちゃんの一代記が始まりました。18歳で嫁に来て、初めてイカ釣り船に乗った体験談、子育ての話、脳卒中で倒れたおじいちゃんを20年間看病した話、お嫁さん、お孫さんの話が1時間近く続きました。

しかし、その間おばあちゃん是一言も苦情を言いませんでした。淡々と話をしておられました。長い話を聞き終えて、立ち上がった私の手をおばあちゃんが握って指きりげんまんをしてくれました。私はおばあちゃんと別れて、31度を超える熱射を浴びながら考えました。地域の活性化とは何か。おばあちゃんのような人が1人、1人生きていける、住み続けられる地域の環境づくりにあるのではないかと思いました。こ

れから、おばあちゃんのような人達が生きられる、住み続けられる環境づくりを目指して頑張りたいと思っております。よろしくご支援のほど、お願いいたします。